

日本屈指の山岳景勝地 上高地

写真：明友社太郎

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。





山岳リゾートとしての 上高地発展の軌跡

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。この指定は、その地域の自然や文化を保護するために国が行う制度で、国の文化財保護法に基づいて行われます。指定を受ける地域は、一般の観光客が自由に入ることができますが、その保護のために立入り制限や規制があることもあります。

大正4年6月には焼岳が大爆発を起こし、流れ出た土石流が梓川をせき止め、そこにできた池は大正池と命名されました。その後、1927年には上高地が文豪芥川龍之介の小説『河童』の舞台となり、東京と大阪の新聞社が主催した「日本八景」の溪谷の部において、上高地が第一に推されました。また、同年には昭和天皇の実弟秩父宮殿下が上高地から奥穂高岳に登ったことや、国立公園選定の準備調査の中で、上高地の河原で日本で初めてケショウヤナギを発見したことが話題となりました。

その後、国の名勝および天然記念物に指定され、初の山岳リゾートホテルである上高地帝国ホテルが開業しました。建設にあたっては、釜トンネルを通り大正池まで資材を運び、そこから小船で大正池を運んでホテルを建設したとされています。これらの出来事により、上高地は山岳リゾート地として発展してきました。

上高地の歴史は、自然と人間の共存・調和を求めてきた歴史でもあります。観光ブームが訪れた時期には、その影響によって自然環境が損なわれることが懸念され、それに対する取り組みが行われました。

日本でも希有、 ふたつの称号をもつ上高地。

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。この指定は、その地域の自然や文化を保護するために国が行う制度で、国の文化財保護法に基づいて行われます。指定を受ける地域は、一般の観光客が自由に入ることができますが、その保護のために立入り制限や規制があることもあります。

次代へ、子供たちへ残したい 風景・上高地。

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。この指定は、その地域の自然や文化を保護するために国が行う制度で、国の文化財保護法に基づいて行われます。指定を受ける地域は、一般の観光客が自由に入ることができますが、その保護のために立入り制限や規制があることもあります。



次代へ、子供たちへ残したい 風景・上高地。

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。この指定は、その地域の自然や文化を保護するために国が行う制度で、国の文化財保護法に基づいて行われます。指定を受ける地域は、一般の観光客が自由に入ることができますが、その保護のために立入り制限や規制があることもあります。

大正4年6月には焼岳が大爆発を起こし、流れ出た土石流が梓川をせき止め、そこにできた池は大正池と命名されました。その後、1927年には上高地が文豪芥川龍之介の小説『河童』の舞台となり、東京と大阪の新聞社が主催した「日本八景」の溪谷の部において、上高地が第一に推されました。また、同年には昭和天皇の実弟秩父宮殿下が上高地から奥穂高岳に登ったことや、国立公園選定の準備調査の中で、上高地の河原で日本で初めてケショウヤナギを発見したことが話題となりました。

その後、国の名勝および天然記念物に指定され、初の山岳リゾートホテルである上高地帝国ホテルが開業しました。建設にあたっては、釜トンネルを通り大正池まで資材を運び、そこから小船で大正池を運んでホテルを建設したとされています。これらの出来事により、上高地は山岳リゾート地として発展してきました。

上高地の歴史は、自然と人間の共存・調和を求めてきた歴史でもあります。観光ブームが訪れた時期には、その影響によって自然環境が損なわれることが懸念され、それに対する取り組みが行われました。



山岳リゾートとしての 上高地発展の軌跡

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。この指定は、その地域の自然や文化を保護するために国が行う制度で、国の文化財保護法に基づいて行われます。指定を受ける地域は、一般の観光客が自由に入ることができますが、その保護のために立入り制限や規制があることもあります。

日本でも希有、 ふたつの称号をもつ上高地

黒部峡谷と上高地は、日本の自然景観の中でも特に美しく、その自然環境や文化的価値を守るために、「特別名勝」および「特別天然記念物」として指定されています。この指定は、その地域の自然や文化を保護するために国が行う制度で、国の文化財保護法に基づいて行われます。指定を受ける地域は、一般の観光客が自由に入ることができますが、その保護のために立入り制限や規制があることもあります。

